

西伊豆健育会病院

保育士 保育室リーダー 山本 美智子

功 績	事務部門の指標である「素早い対応」を実践し、院内保育士として子供を持つ職員が安心して働く環境を整えた功績
推 薦 者	マネージングディレクター 佐野 良一
推 薦 理 由	常に子供を持つ職員が働きやすい環境を整えるにはどうしたら良いかを考え、今回のケースだけでなく子供を持つ職員の急な勤務変更、子供の体調不良等様々な変化に臨機応援に対応し、院内の人材確保の一環を担っている保育室を運営しているリーダーの山本を理事長賞に推薦致します。

内 容

現在、院内保育園では、常勤職員2名・パート職員3名の保育士で0歳から12歳までの職員の子供24名の預かりを行っている。職員の勤務形態は様々で、山本はその勤務状況に合わせて保育士の勤務調整を行い、パズルのように勤務表を作成し24時間保育にも対応している。町営の保育園は無償化を謳っているが、園児が発熱等体調不良があると、即保護者へ引き取りの連絡がされ、仕事を持つ保護者は仕事を休まなければいけない環境となっている。

4月18日、院内保育休園（預かり予定の子供無）の日、病棟で1名の看護師が体調不良によりお休みとなり、1名の看護師は子供が発熱し町営の保育園より引き取りの連絡を受ける。2名の看護師の急なお休みとなると病棟業務に支障をきたすため、院内保育開園の依頼が看護部よりあり、休日である保育室リーダー山本へ連絡すると、準備をしてすぐ病院へ向かいますと即答。連絡した30分後には保育を開始する準備を整え、発熱した子供を迎えに行き、看護職員の勤務が終了するまで保育を行い、病棟看護を支えた。